

ストリートハンドボール

ストリートハンドボールはハンドボールの普及・競技人口の拡大を目的として作られた、デンマーク生まれのスポーツです。専用ボールは直径42cmと47cmの2種類あり、アスファルトでもプレーできるようにとても丈夫な材質でできています。校庭や駐車場、などでもプレーできます。

基本的なルール

- ・フェアプレー（フィジカルコンタクトなし）
- ・ドリブルなし
- ・ボールを持って3ステップ以上は歩けない
- ・セルフジャッジ（審判なし）



ルールについて

ルールは当事者同士で自由に決めることができ、コートやゴールの大きさも自由です。例えば、バスケの3on3のように半面のコート（ゴールひとつ）で行うことも可能です。人数もコートに合わせて自由に決めて行います。

流山HCでの活動について

流山HCでは、ストリートハンドボールを練習に取り入れています。

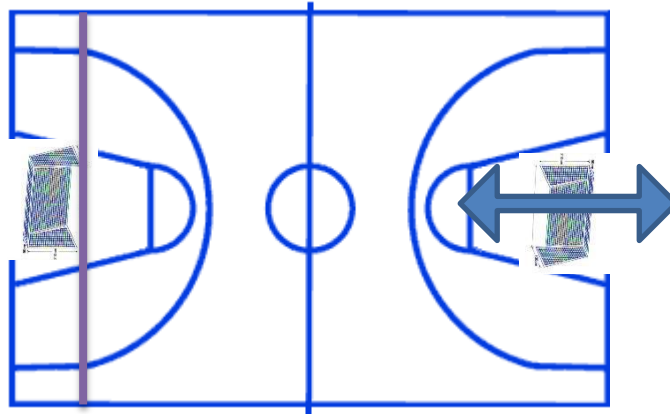
- 幼児教室及び低学年の練習としての利点について
 - ・ボールをつかむことができる（幼児でもシュートフェイントをしています）
 - ・ボールが当たってもいたくないので恐怖心がなくなる。
 - ・ドリブルのできない幼児にとってはドリブルなしのルールはかえって好都合である。
- 高学年の練習としての利点について
 - ・ドリブルなしなので off the ball の動きが誘引される。
 - ・ドリブルなしなので pass & run が誘引される。
 - ・ドリブルなしなのでボールをもらってからの3歩を有効に使わなくてはならない。
 - ・ドリブルなしなのでワンマン速攻ができない（→ボールを持つ回数が増える）
 - ・フィジカルコンタクトが禁止なので、DFのポジショニングが重要になる。
 - ・フィジカルコンタクトが禁止なので、半身ずれてのシュートが有効になる。
 - ・セルフジャッジなのでルールを覚えるきっかけになる。

ルールの工夫

- ・ドリブルの代わりにボールを転がすことを認める。
（幼児におけるドリブルの前段階として）
- ・シュートを決めたらプレイヤーは交代する。（人数が多い場合など）
- ・人数の調整（大人3人对6年生4人など・・・）
- ・コートの調整（大人のゴールは3mでエリアは6m、6年生はゴール2mエリア5m等）

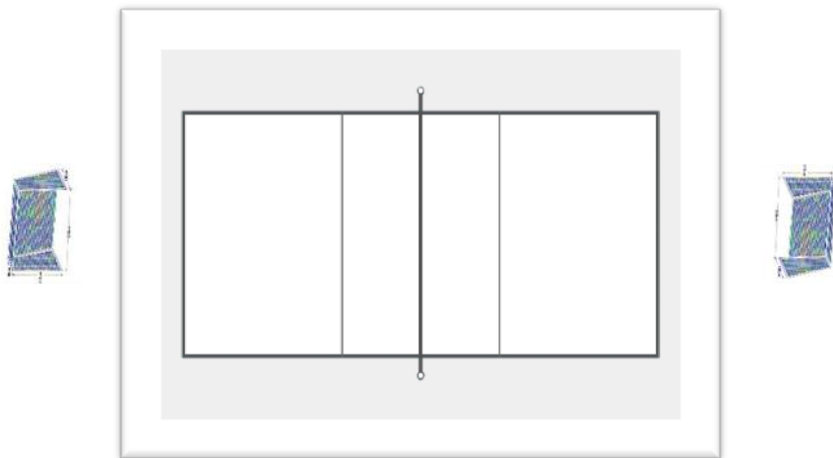
コートの作り方の参考例

バスケットボールコートを利用する場合



- 3点シュートのラインをゴールエリアラインに見立てる。
- 対象年齢に合わせてゴールの場所を変え、ゴールエリアラインまでの距離を調整する。
- ゴールをねかせたり起こしたりして高さを調整する。

バレーボールコートを利用する場合



- バレーコートは狭いため、バレーコート内をフレイエリアとし、エンドラインをゴールエリアラインにする。
- ゴールの位置でゴールエリアラインまでの距離を調整する。

ボールの購入

- インターネットショップ「MELIS」で購入できます。一個3,800円です。